

11 Gakuvo Style Fund（育成・支援プログラム）

全国で精力的に活動する学生ボランティア団体に対して助成する Gakuvo Style Fund（ガクボスタイルファンド）の運営形態は、ボランティアセンター報告書第12号79ページに記載のとおりである。

第2回助成を受けた41団体は、2016年5月15日（日）に日本財団本部で開催された活動報告会で活動報告をおこなった。こまめにウェブ上で活動報告をおこなっていた3団体には15分のプレゼンテーションを依頼し、さまざまな切り口から報告した。3団体以外の団体は与えられたパネルに事前に用意した活動報告を貼り付け、会場通路に展示。各参加団体は休憩時間を利用して、パネルを見て気になった団体に対しポストイットにメッセージを書き、パネルの余白部分に貼り付けた。

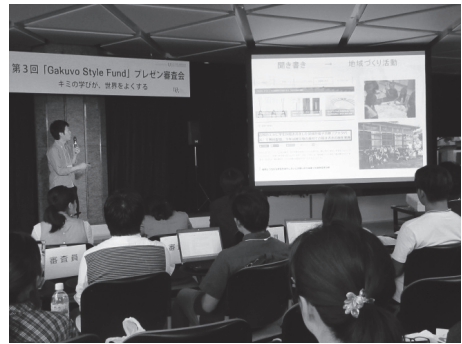
活動報告会開催後は第3回助成団体の受け入れである。一時審査を通過した「こらぼ（他団体と協働するプログラム）」「ばかぼ（地域の課題解決にディープに取り組むプログラム）」に申し込んだ団体は2016年7月31日（日）に開催されたプレゼン審査会に臨んだ。各団体は昨年同様に90秒のプレゼンテーションで最後のPRをおこなった。1団体のプレゼンが終わると、他の団体は良かった場合には手元のボードを上げるとともに、司会はすかさず無作為でマイクを向け、感想を述べさせた。こうしてプレゼン90秒+挙手・感想90秒のサイクルで34団体がプレゼンをおこなった。他団体のプレゼンの時も気を抜く時間がないという緊張感は経験したものでないとわからないであろう。選考の結果、書類選考のみの「ゆるぼ（初めて活動をおこなうプログラム）」に申請した団体を含め、今年度は40団体が助成団体として採択された。

第3回助成団体に対しても活動のようすをウェブで報告することを義務付けており、以下のURLから閲覧可能である。

<http://gakuvo.jp/katsudou2016/>

この報告書が発行される時には第4回の選考が始まっている。本学からはこれまで2団体しか採択されていない。多くの明学の団体が関心を持ち、応募することを願ってやまない。

（職員 波多野洋行）



90秒プレゼン報告者と真剣に聞く学生・審査員【第3回プレゼン審査会】